

2023年

9月号

農林水産省

北海道農政事務所

北見地域拠点

ず～むあっぴ☆

オホーツク

収穫体験の様子（大空町）

## 食育活動表彰で消費・安全局長賞を受賞

## 株式会社大地のMEGUMI(大空町)

大空町女満別で有機栽培・特別栽培を行っている株式会社大地のMEGUMI(赤石昌志社長)は、町内の小学生を対象に播種から収穫・販売までの一連の経験を提供する食育の取組を16年もの間継続しており、このことが評価され、この度農林水産省主催の「第7回食育活動表彰」の教育関係者・事業者部門(農林漁業者等の部)において、消費・安全局長賞を受賞されました。

「今回の受賞は町・教育委員会・学校の方々の協力のおかげ」と話す赤石社長に、有機農業と食育事業を行うことへの想いを伺いました。



表彰式の様子



## 🍷 有機農業で食育を行うきっかけ

赤石社長が有機農業に興味を持ったのは、「自分の子どもの離乳食を有機野菜を使ったものに変えたところ、アトピーが良くなった」という経験から。食べ物の体への影響を知り、自身もなるべくなら農業を使わずに作物が作れたらいいという想いから平成元年に有機農業へ転換し、仲間たちと会社の前身となるグループを立ち上げました。

大規模畑作を中心とした農業が展開される地域で有機農業を行うにあたって、「周りの人たちの理解と協力が必要」と考え、開始後10年間は栽培のシステムはもちろん周囲の理解を構築することに力を入れたとのことでした。

この「理解構築」の一つが食育事業でした。



## 🍷 体験から理解を深める食育事業

食育事業の特徴は、学校給食への食材提供や料理教室、出前授業に加えて、本格的な栽培体験があること。

栽培体験に使う畑の大きさは2ha。畝の端は遠くはるか彼方まで続きます。

化学農薬を使用しないことから人の手による作業の多い有機栽培ならではの大変さや、環境にやさしい農業について、座学で得る知識だけでなく体験の中で理解を深めてもらうことを目指し、町内の小学校6年生に播種、マルチはがし・除草、収穫と、体を動かし手や衣服を汚しながら、かぼちゃを育てる栽培体験を提供しています。



栽培体験で活用される2haのかぼちゃ畑

## 🍷 継続のポイントはwin-winな関係

赤石社長は食育事業について「食育を提供しているということだけでなく、行うことで私たち自身が得るものがたくさんある。」とおっしゃっていました。一つは人前で話す機会の少ない従業員等が子どもたちの前で説明することで人前で話すことに慣れ伝える力がつくこと。もう一つは、「なぜ有機栽培なのか」「なぜこのように行っているのか」有機栽培を行うにあたって大切にしていることを従業員等が深く考える機会になり、成長につながっていること。また、従業員だけでは1週間かかる作業が小学生60人では45分で終わるという副次的なメリットもあります。

携わるみんなの「やってよかったな」の声が16年の継続につながっているそうです。



栽培体験作業についての説明の様子

## 🍷 赤石社長からのメッセージ

～大空町を離れても懐かしんでもらえる食育事業を～

「子どもたちにとってこの体験は一生忘れない思い出になるし、大空町を離れる子どももいると思うけど、離れた先で大地のMEGUMIの野菜を見かけたら、懐かしくて手に取ってくれると思うんだ。」と笑顔でおっしゃる赤石社長。

赤石社長自身が、有機農業に誇りを持ち、地元大空町のことを大切に思っている。そんな想いも感じました。

お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます！  
『株式会社大地のMEGUMI』の情報はこちらから↓

<http://daichinomegumi.net/wp/>



北海道農政事務所との意見交換の様子(右が赤石社長)



# 大地のMEGUMI食育フォトギャラリー

6月 播種



秋に大きなかぼちゃになることを想いながら種を植えます。

7月 マルチはがし・除草



オホーツク地域とはいえ7月は暑い！暑さに負けず頑張る子どもたち。

9月 収穫



大きく成長したかぼちゃを一個一個丁寧に収穫します。

食育事業実施初年度は小学生の播種後2割しか発芽せず、種をまき直したそうです。翌年度からは「は種練習キット」を作り、



先生との事前練習

事前に学校で練習したうえで本番を迎えています。この事前練習で発芽がとってよくなったとのこと。

学校給食に年6回食材提供しており、ちょうど栽培体験の日の給食の材料となっているとのこと。体験後、給食を味わう小学生の姿が目に浮かびます。



コロナ禍前は、小学生自ら地域のお祭りで収穫物を販売し、その売上金で学校に必要なものを購入したりもしていました！



お祭りでの販売の様子



「食育事業に取り組む仲間の多くが65歳を超える今、どのように継続していくか」を考え、後継者育成にも力を入れています。新しい従業員の方のアイデアによるキッチンカー事業や伐採木を活用した薪販売など、従業員それぞれの得意を生かした新しい事業も始まっています。

掲載の写真は株式会社大地のMEGUMIさんに提供いただいています。

## 食育は

生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。

### 農林水産省

では

食育の取組が全国で幅広く行われることを推進するため、食育の優れた取り組みを表彰する「食育活動表彰」を毎年行っています。

地域で様々な食育活動を行っている方々の参考としていただけるよう、食育活動表彰受賞者の取組をまとめた事例集を作成しています。どうぞご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/7th/attach/pdf/result-19.pdf>



北海道農政事務所は、北海道酪農を応援するため、「スキムミルク」の名称を冠したキャンペーンを複数回にわたって実施し、その認知度を向上させることにより、家庭等でのスキムミルクの消費拡大を促し、脱脂粉乳在庫の減少に資する取組を行うこととしました。

その第1弾として、「**防災リュックにスキムミルクを!**」を実施します。

詳しくはこちらをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suisin/ki-kaku/230828.html>